

福井県の子どもたちを応援しています。

六感デザイン

野路 靖人 様
当センターへのご支援 2015年～

お仕事内容

デザイン



遊びつてスゴイ!

友達と遊んでいても、今やって
いた遊びが違う遊び方に変化
していくことがあります。これっ
て、新しい遊びを作っているとい
う、とってもスゴイこと。新し
いものを作ることは大切なこと
だし、それは遊びからも自然と
生まれたりする。だから、みな
などんどん遊ぼう!

春日装備 株式会社



立壁 和典 様

お仕事内容

内装工事

楽しい事見つけようぜ

今日の一日、面白かったか
い、楽しいことあった、うれし
かったことは。大人も、子ども
たちも毎日の出来事の中で思
い出してみ。あるよ、ひとつ
でいいから思い出して。家族
で話してみよう今日の一日の
出来事を。みつけた、今日の
楽しいこと。

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、
活動を支援する会員。

●個人

一口年額 / 5,000円

●団体(法人)

一口年額 / 10,000円

B. ボランティア会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、
活動にボランティアとして協力・参加する個人。

●個人

一口年額 / 1,000円

C. 一般寄付も受け付けています

●郵便振替での寄付

●オンライン
での寄付

つながる募金

HPから簡単に子どもNPOセンターに寄付ができます。ソ
フトバンクが提供する「つながる募金」の寄付サービスを利用
開始しました。ぜひともご支援を宜しくお願い致します。

入会方法

郵便振替の通信欄に、

①住所 ②氏名 ③電話番号

④会員の種類(左記ABCいずれか)

⑤口数 を記入してお振込みください。

郵便振替

00770-1-45546
福井県子どもNPOセンターつながる募金での
ご支援はコチラから

◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄付や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。ぜひご利用ください。

①個人のご寄付

【所得税】(寄付金の合計額-2,000円)×40%が税額控除されます。【上限:所得税額の25%】

【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。

【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄付した場合、寄付をした財産には相続税が課税されません。

②法人のご寄付(法人税)

一般寄付金の損金算入限度額とは別に、損金算入することができます。詳細については、
最寄りの税務署にお問い合わせください。また、国税庁のウェブサイトでも手続きの詳細
が掲載されています。

福井県子どもNPOセンター

Information Clip

インフォメーション・クリップ

「楽しい!あそび」をレンタルしませんか?

幼稚園、児童クラブ、地域のお祭りはもち
ろんご自宅でも遊んでみませんか。高校の
文化祭でも遊んでいただきました!

- スマートボール
- 空き缶つりぼり
- 巨大ジェンガ
- 皿回し
- 千本引き
- 巨大だるまおとし など

Hop on Hop off

毎日いろんな報告をしてくれる子どもたち。
できるようになったこと、大変だったこと、う
まくなりかなくて悩んでいること...1日の中でも
感情が動かされるできごとがたくさんあるそ
の敏感さに、うらやましくも思う。キラキラ輝
く今を生きる子どもたち。そんな青春の日々
をのぞけることが私の生きがい。(パスカル)

記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター〒918-8106 福井市木田町36-1
コーボ木田201号
TEL.0776-97-8460
FAX.0776-97-8461
E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp

LINE



Youtube



Facebook



X (旧Twitter)



企画・編集 / 福井県子どもNPOセンター デザイン / 六感デザイン・Neu

ホームページ



Take Free [無料]

「今」を生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌。

バックナンバーは
こちらからこども
Channel

チャンネル



みる



きく



あそぶ



かんがえる

2023
72号発行: 認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター URL: <http://childnpo.com>町かどに、
子どもの声を聴く町かどから子どもたちの声が聞こえなくなったのは、いつからだったのだろう。かつては放課後や土日になると、町中を子どもの声がすり抜けていき、
道路には缶蹴りや鬼ごっこ、ケンケンバーやだるまさんが転んだとか、
いろんな遊びが繰り広げられていた。たぶんそれは80年代以降、高度情報化時代の到来とともに、町はもうコミュニティではなくなり、
境界は自由に子どもたちが出入りして遊べる世界ではなくなってしまった。子どもたちはどこへ行ってしまったのか?ここからここまでだよ、という決められた場所でしか遊んじゃいけない、ということになって、
幼稚園や学校やいかめしい管理施設に放り込まれ、子どもたちはペットのように囲い込まれている。
確かに決められた場所は安全で何不自由なく、常にあればどうか、これはどうなのと与えられている。
子どもたちはその世界しか他に知らないから、大人たちのよかれと思う子どもになっていこうとする。
でも、子どもたちはなぜか、生き生きとして育っているようには感じられない。
いつも見守られているようで、実はただただ管理されているだけ。

本当の自分を見せたら可愛いがってもらえないもの。

子どもたちはそこにいるけれども、そこにいない。

育てられているという喜びのない子は、もうそこになじめない。

家に閉じこもるしかなくて、不登校は激増している。

育てることも管理することもできない大人に虐待される子どもたちが増え、

家にすら居場所がない子は、ネットの世界でしか息を吹き返せない。

思春期になれば、汚れた大人たちの吹きだまりを紡ぐうしかなくなっていく。

もう、町かどに子どもの声を聴くことはできないのか。今からでもいい、子どもの本当の声が聞こえてくるように、
まず私たち大人が生き生きとした町を作り直していけないだろうか。
子どもは大人たちの生きている狭間に遊んで育っていくからだ。
大人のペットになりたいわけじゃなく、あんな大人になりたいと思いながら成長していく。
本当に自分のことを聴いて欲しい大人がいれば、その傍に子どもたちは集まってくる。
子どもたちを集める場ではなく、集まる場を。
そこが本当の町かどになるはずだ。教育カウンセラー
向井清和



令和5年度 ふくいチャイルドライン養成講座開催中！

昨年度に引き続き、9月から11月の間で、3日間さまざまな講座を企画しました。公開講座では、①少年との対話から学ぶ子ども支援の方法（9/3終了）②子ども基本法について（10/1終了）③子どもアドボカシーについて（11/5開催）を企画し、多くの視点から学びの最中でありす！養成講座では、大人が学ぶ「性と生」、少年犯罪と少年鑑別所の役割など、子どもと関わるうえでの気づきやヒントとなる内容となりました。



チャイルドラインとして、子どもたちに寄り添い、子どもたちの「いま」に目を向けています。そして、社会に発信し、参加された皆さんと考えていきたいと思います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

子どものさまざまな
課題について
学びましょう！

ふくいチャイルドライン
室長 岡田伊佐央



受け手養成講座 2023

（福井県社会福祉協議会
福井県まごころ基金助成事業）

9月3日	10:00 ～12:00	公開講座 子どもたちの声に耳を傾ける ～少年との対話から学ぶ子ども支援の方法～ 青井 利哉 氏（福井医療大学看護学科 講師）
	13:00 ～15:00	大人が学ぶ「性と生」～からだところの主人公～ 東 みすゑ 氏（障がい児・者の「性」を学ぶ会〈ゆいの会〉）
	15:00 ～17:00	少年犯罪と少年鑑別所の役割 中山 章 氏（法務少年支援センターふくい 支所長） 林 誉志幸 氏（法務少年支援センターふくい 統括専門官）
10月1日	10:00 ～12:00	公開講座 子ども基本法について 霜 大樹 氏（こども家庭庁 家庭福祉課 社会的養護専門官）
	13:00 ～15:00	自己理解ワークショップ part 1 向井 清和 氏（教育カウンセラー）
	15:00 ～17:00	自己理解ワークショップ part 2 向井 清和 氏（教育カウンセラー）
11月5日	10:00 ～12:00	公開講座 子どもアドボカシーについて 堀 正嗣 氏（熊本学園大学 社会福祉学部福祉環境学科 教授） 参加者募集中！
	13:00 ～15:00	聴く力は愛する力 向井 清和 氏（教育カウンセラー）
	15:00 ～17:00	チャイルドラインについて ふくいチャイルドライン 室長



表現ひろば

2023年3月。旗揚げ公演『天才の国』は、好評のままに幕を閉じました。2023年度は2024年3月の本番に向けて新たな団員10名を加えて、7月から歩んできました。今年は「台本」も手創りするなど、【自分たちで創りあげる舞台】により、一層拍車を掛けそうです。これからも公演に向けて歩んでいく団員たち。その一步一步の足跡は、どこまで続くのか。そして、どんな物語が刻まれていくのか。ともにワクワクしたいものです。



畑 空吾

第2期のプラムが
動き出しました！

中高生劇団【プラム】活動中！



「競輪の補助事業」



今年度の【プラム】も演劇や表現することが大好きなメンバーが集まり、年齢の幅も広がって一層エネルギッシュな活動が展開しています。やりたいことを聞いてみると、戯曲を書きたい／ミュージカルをやりたい／悪役をやってみたい／衣装づくりをしたい…などなど盛りだくさん。一人ひとりの中に創作や表現への意欲があふれています。現在は演劇ゲームや寸劇づくりのワークを楽しみながら、3月公演に向けて話し合いの熱量を高めているところ。これからメンバーの思いがどんな芝居になって立ち上がるのか、どうぞご期待ください。



さよならキャンプ
山田 志穂（劇団【プラム】演劇ファシリテーター）



水遊びで
大はしゃぎ！

夏休みの校庭に
子どもたちの歓声響く

8月23日（水）木田小学校校庭で、夏の水遊びプレーパークを開催しました。福井市は猛暑でプール開放も中止になることが多く、なかなか外で遊んだり水遊びをすることがなかった夏休みだったのではないのでしょうか。水をはったプールに浸かったり、水鉄砲で撃ち合ったり、夏休みの終わりに思いっきり遊んでいました。



おもしろフェスタ in サンドーム福井2023

サンドーム福井が子どもたちの熱気であつあつ！



8月5日（土）、6日（日）の2日間、サンドーム福井で開催された「おもしろフェスタ in サンドーム福井2023」に出展しました。スマートボール・輪投げ・空き缶つりぼり・千本引きの4つをまわる縁日ひろばと、トランスパレットを使った「なんちゃってスタンドグラス」づくり、皿回しや木のドミノを置いたフリースペースを設けました。懐かしい縁日の遊びや、工作を親子で楽しんでいる様子が見られて、久しぶりに祭りの賑わいを感じることができました。



子どもたちの
いい笑顔が
見えました！

あすか



みんな
集まれ～！

いたちゅうプレーパーク

開催決定！

10月20日（金）21日（土）板垣中央公園にて



子どもと 文化企画

劇鑑賞会 開催！

主催：公益社団法人日本劇団協議会
総合劇団俳優館
協力：福井県子どもNPO センター



7月27日（木）・28日（金）の2日間で3公演、福井県県民ホールにてミュージカル『あらしのよるに』～総合劇団俳優館～を開催しました。児童クラブの子どもたちがほとんどでしたが中にはお孫さんと一緒に来られた方などご家族連れの姿もみられました。計1358名の来場者がありました。

『あらしのよるに』舞台公演。何も無い所を指さすと体ごと振り向いてくれる、隠れている所を教えてくれる、「危ない！」と声をかけてくれる。あの子どもたちは家に帰ってどんな風に話をしてくれるのでしょうか。楽しかったです。



当日会場スタッフ 澤 珠水



木田児童クラブサポート事業



2023年夏
子どもたちの成長

今年の夏の異常な暑さにも負けず、子ども達はいつも可愛い笑顔を見せてくれます。夏休みには、三年生を中心にした夏まつりをしました。どうしたらお客さんが来てくれるのか？どうしたらルールがわかりやすくなるか・・・など、たくさんみんなで考えました。当日はなんとかうまくいき、とても楽しい時間となりました。遠足にも行きました。絵付け体験に、抹茶体験など子ども達はいろんなことに挑戦し、貴重な体験ができたと思います。最近はトイレのスリッパや、本棚の本を整頓してくれる子が増えてきました。次に使う人の為に自分が使っていないくても、自ら整えてくれる子を目にするととても嬉しく子どもたちを抱きしめたいと思います。これからも、子ども達の声を聞き、どんどん成長していく子ども達の手助けが少しでもできるように見守っていききたいと思います。



木田児童クラブ クラブ長 岡田 美香